

住まいのおしゃべり広場



2024年3月 発行

末政建設株式会社 第 85 号

もくじ

P1. 一番星見い〜つけたあ

P2. 「安心」=『チャコの家』

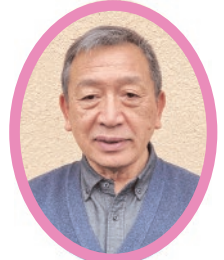
P3. 住宅省エネ
2024キャンペーン

P4. リビングフェア2024

北陸新幹線、発車！



待ちに待った北陸新幹線が、みんなの夢を乗せてついに発車しました！開業前から試乗走行する雄姿が見えたり、開業日にはブルーインパルスが歓迎したりと俄然盛り上がってきましたね。県内の各駅周辺は多少工事の遅れもあるようですが、徐々に賑わってきています。先日久しぶりに福井駅周辺を散策してみました。すっかり恐竜王国に変身していてワクワクしました。その反面長年慣れ親しんできたサンダーバードやしらさぎがもう福井駅では見る事が出来ないのかと思うと少し寂しい気もします。別れを惜しみつつ新しい出会いに期待して、みんなで福井を盛り上げていきましょう。(社長)



たかむくのまちづくり協議会
かなざき あきお
会長 金崎昭雄さん

弊社ユーザー様の中から趣味や特技で秀でた方、様々な分野で活躍されている方などをご紹介させて頂いております。

今回キラリと光る一番星さんは、坂井市丸岡町一本田にお住まいの金崎昭雄さん(68歳)です。坂井市には23のまちづくり協議会という地域に根ざしたボランティア団体があり、丸岡町にも7団体あります。

金崎さんはその中の一つ、高椋(たかぼこ)地区を中心に活動している「たかむくのまちづくり協議会」に発足当初の16年前から参加されており、昨年から会長職を務められています。同協議会のある高椋地区は人口約7600人、世帯数約2600戸で、縄文中期から水に恵まれ、米作地帯として栄えるなど歴史が大変古い地域で、近年では「コシヒカリの郷」としても有名です。また明智光秀ゆかりのお寺として有名な「称念寺」や文豪「中野重治」の生家等もあります。

そして当地区の高椋小学校も歴史が古く昨年 150周年を迎え、色々な記念事業も行われました。その地区を中心に活動する「たかむくのまちづくり協議会」は「防災・福祉」「つどい・食育」「歴史・文化」を柱に地域の活性化を図りながら積極的に活動しています。様々な事業に取り組んでいる同協議会の中で金崎さんは、長年「歴史文化部会」に携わり、地元の歴史に詳しい方を講師に招いて「歴史文化講演会」を開いたり、西暦1300年頃にこの地区から奈良県のお寺にお米を奉納していたという行事を再現した「西大寺のお米おくり」という活動を毎年精力的に続けられています。また昨年は「たかむく玉手箱」という高椋地区の歴史を綴った冊子も発刊されています。金崎会長に今後の同協議会への想いをお聞きしますと、やはり地域の宝である小中学生の子供たちと関わる事業を進めていきたいというお考えがあるそうです。

また金崎会長ら丸岡町の7つの協議会からなる「丸岡町まちづくり連絡協議会」では各協議会が連携して取り組める事業として「丸岡城サミット」など、多くの人達を巻き込んだ事業も広がっていきたいという想いがあるそうです。地域のために活動するのはなかなか大変な事だと思いますが、今後共お体に気を付けて活躍して頂きたいと思っております。



精力的に活動する「歴史文化部会」



冊子「たかむく玉手箱」発刊